

次世代型低速自動走行モビリティサービス「iino」の 大阪城公園における実証実験の実施について

2019年3月14日
関西電力株式会社
損保ジャパン日本興亜株式会社

関西電力株式会社（以下、関西電力）および損保ジャパン日本興亜株式会社（以下、損保ジャパン日本興亜）は、このたび、大阪府・大阪市・大阪商工会議所で構成する「実証事業検討チーム」※¹が募集していた「大阪城公園における実証事業」として、「iino」※²を活用した移動空間サービスに関する実証実験を3月17日より実施いたします。

今回の実証実験では、観光地での外国人観光客に向けた低速モビリティを活用したサービスの開始を見据え、『日本伝統文化×時速5キロ』をテーマに、モビリティ上での茶や舞踊、和楽器を中心とした演奏などを提供するものです。低速で移動するモビリティ上で日本伝統文化に関するコンテンツを提供することにより、単なる移動では得られないエンターテインメント性の高い体験の提供に挑戦します。

モビリティサービスについては、関西電力の「iino」を活用し、一部のルートについて自動走行を実施するとともに、損保ジャパン日本興亜による観光施設内での自動走行の安全性を確保するためのリスクアセスメント、走行中の安全性を確保するための遠隔監視（見守り）を行う実証も行うほか、さらに、今回の実証実験をより安心・安全なものとするべく、完全自動運転に対応した専用保険商品の提供も行います。

今後、本プロジェクトは引き続き『〇〇×時速5キロ』（呼称：クロス5キロ）をテーマに、さまざまな業種とタイアップし、これまでにない新しい商品・サービスを開発してまいります。

- ※1：大阪府・大阪市・大阪商工会議所で構成され、先端技術を活用した実証実験の実施・成果普及を通じた産業振興、地域経済の一層の活性化を目的に設置されたもの。実証実験への支援は、大阪における新たなビジネス創出を目的に順次実施される予定。
- ※2：時速1～5キロで自動走行するモビリティを活用したサービスの提供およびモビリティプラットフォーム運用。

以上

別紙1：大阪城公園における実証実験の概要

別紙2：「iino」の概要